

年 組 名前 :

問1

韮崎市が来年度から順次移行する予定の「地域部活動」とは、どのような取り組みですか。

.....
.....
.....
.....

問2

「地域部活動」以外に、部活動のあり方について、検討している内容を3つ答えてください。

.....
.....
.....
.....

問3

「地域部活動」を実施することによる、メリットとデメリットを考えてください。

・メリット
.....
.....
.....
・デメリット
.....
.....

「地域部活動」に順次移行する方針を固めた。指導に当たる教員の負担軽減などが狙いで、県教委によると、県内の自治体が独自に取り組むのは初めて。市は19日に調査会を設置し、移行に向けた具体策の検討を始める。

調査会は市教育長や市立中学校の校長、部活動の指導教員、地元のスポンサーの関係者らで構成。教員に代わって生徒を指導できる人材の確保や部活動中の事故対応、指導員への謝礼金などの課題について議論する。

部員数の減少で存続が難しい部活動を中学の垣根を越えて実施する「合同部活動」や新たな部の創設、平日における指導教員の負担軽減についても検討する。市教委の担当者「一部活動が抱える課題改善に向け慎重に議論を進めた」と話している。

市教委によると、市立の韮崎東、西の2中学校ではそれぞれ11の運動部と3の文化部が活動。指導に当たる教員が休日の練習や大会に付き添うことが多く、大きな負担になっている。

スポーツ庁の有識者会議は、2023～25年度の3年間で公立中学校の運動部活動

部活動の指導地域で

教員負担減へ移行検討

韮崎市

の休日指導について、「地域移行」する方針を示しており、市は調査会を設け、具体化に向け協議を始めることにした。県内では南アルプス市の櫛形中と八田中が昨年度から国の研究校の指定を受け、元教員らが休日に運動部を指導している。

(2022年5月17日付 山梨日日新聞 18面)